

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大宮西小】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月) 反映

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	【学習上の課題】 主語と述語の関係や、除法、減法など計算など基礎的・基本的な知識・技能の定着が乏しい。 【指導上の課題】 反復・習熟のための時間の確保が難しい。	⇒ 業前の活動「まなぶくんタイム」での「ドリルパーク」「スタディサプリ」を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。【毎週の業前の実施】 国語の授業では、定期的に主語と述語の関係を読みとる。また、算数の授業においては、既習事項の学習内容でも、計算方法を丁寧に確認する。【該当する内容の授業】
思考・判断・表現	【学習上の課題】 国語では、活動の際の目的について課題がみられる。算数では、問題場面を的確に読みとることや立式の模倣をもつことに課題がみられる。 【指導上の課題】 活動の目的の明確化が不十分である。また、問題場面や求める方などを図や言葉などで表現する活動が少ない。	⇒ 国語の授業では、意図を明確にし、言語活動に取り組む。【該当する内容の授業】 算数の授業では、問題を確認する場面、練り上げの場面において、式だけでなく言葉や図などを結び付けて言語化する。【該当する内容の授業】

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		結果提供(2月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	漢字を文の中で正しく使う問題に課題がみられた。言葉や漢字の定着が不十分であると考えられる。算数の除数が小数である場合の除法の計算をする問題に課題がみられた。解答類型を見てみると、基本的な計算の定着が不十分なようである。また、直径の長さや円周の長さ、円周率の関係についての理解も不十分と考えられる。いずれにおいても、見当をつける力が不足していることが原因なのではないか。	
思考・判断・表現	国語の目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり、関係づけたりして、伝え合う内容を検討する問題に課題がみられた。特に長い文章や多くの情報に抵抗感があり、要点を整理する力や語句の意味の理解が不十分である。算数の道のりが等しい場合の速さについて、時間をもとに判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する問題に課題がみられた。距離と速さ、時間の関係の理解が不足していることや、自らの考えを説明する際の相手意識の低さが原因と考えられる。	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ①結果分析(管理職・学年主任等)
- ②詳細分析(学年・教科担当)
- ③分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	業前の活動や授業の時間を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を目指することができた。実際に活用する場面で力を発揮するまでには今後も継続が必要である。	業前の活動「まなぶくんタイム」での「ドリルパーク」「スタディサプリ」を活用し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。【毎週の業前の実施】 国語の授業では、定期的に主語と述語の関係を読みとる。また、算数の授業においては、既習事項の学習内容でも、計算方法を丁寧に確認する。見当をつけてから計算をする機会を設ける。【該当する内容の授業】
思考・判断・表現	B	国語の授業では、意図を明確にし、言語活動に取り組んできたが、今後も継続が必要である。算数の授業では、問題を確認する場面、練り上げの場面において、式だけでなく言葉や図などを結び付けて言語化を図ることができた。	国語の授業では、意図を明確にし、言語活動に取り組む。【該当する内容の授業】 算数の授業では、問題を確認する場面、練り上げの場面において、式だけでなく言葉や図などを結び付けて言語化する。その際に、相手意識をもちながら行うようにする。【該当する内容の授業】

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)